

仮面が剥がれ落ちる——永遠に！

<http://stateofthenation.co/?p=196345>

SOTN

November 20, 2023

のみならず、暴露されたその醜い顔は、このシオニストのジェノサイド狂気ほど、恐ろしいものにはなり得ない。

SOTN 編集者ノート：イスラエルの、10/7 ニセ旗テロリスト攻撃と、ガザのパレスチナ人への隠しもせぬ攻撃によって、「仮面が永遠に剥がれ落ちた」だけでなく、シオニストの、かつて秘密だった全面的世界支配アジェンダが、すっかり明け透けになった。
参照：「ストラットフォー（米調査機関）チーフが明かす、シオニスト-アングロ-アメリカンの世界支配計画」 <https://stateofthenation.co/?p=101642>

本当の問題はここにある：——ほとんどのアメリカ人が理解していないことは、EU の崩壊が完成したとき、アメリカでは、同時に、完全にコントロールされた解体工事が予定されている。（ユダヤ人の文化マルクス主義者 Barbara Lerner Spectre は、キリスト教ヨーロッパ民族社会の、破壊を求めている。） <https://stateofthenation.co/?p=196256>

そして Covid（コロナ）バイオ戦争は、いまだにアメリカ市民に戦争を仕掛けているが、それは長く計画された、ボルシェビキ式の、アメリカ共和国転覆計画の大きな一部である。これこそまさに、1917年のボルシェビキ革命のとき、ハザール陰謀団（Khazarian Cabal）がロシアで実行したものである。参照：「アメリカよ、次はお前だ！」

<https://stateofthenation.co/?p=195648>

歴史的に白人のキリスト教諸国が、ゲノムを狙った COVID-19 バイオ兵器と、兵器化された Covid ワクチンの両方によって、荒廃させられたのは、当然ではないだろうか？ Five Eyes 国家（英、米、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド）が、この惑星全体にこっそり撒かれた、生物テロリズムの連続波状攻撃によって、特に甚大な被害を受けた。実を言うと、今行われている年中行事の、インフル・ワクチン計画にも、同じ極端に有害な Covid 注射で使われた、mRNA バイオテクノロジーが使われるだろう。参照：

「用心せよ！ インフル・ワクチンには、危険な mRNA テクノロジーが使われている」

<https://stateofthenation.co/?p=196389>

ここで肝要なポイントは何か？

十分に大きく、十分に力があり、金持ちで結束力があり、十分に頭がよくて、この惑星の文明全体を占領しようと試みさえする部族 (tribe) は、ただ一つしかない。(そうだ、彼らは数世紀前に、密かにそれを試みたのだが、彼らは今、自分たちの共産党の手口を失っている。) このハザール・マフィアが、世界中の他のすべてのマフィアを、完全に所有し動かしているとすれば、彼らが、国家の世界共同体を、恒常的に混乱させ、紛争の状態にしておくことは、全く簡単なことであろう、そうではないか？ 何と言っても、リアルタイムで、サタン儀式の集団的人間生贄を、色鮮やかに、プライムタイムで、目撃するほど恐ろしいことはないだろう。 <https://stateofthenation.co/?p=193985>

N.B. あなたの本当の敵が何者であるかを知ることほど、重要なことは、これまでになかった。ここで言われているように (画像ビデオ)。

「アメリカよ、次はお前だ！」——ネタニヤフ (11/15)

<https://stateofthenation.co/?p=195648>

ひと度、ネタニヤフが、このアメリカに対する脅迫を発したとき、あなたは9・11レベルのニセ旗テロ攻撃が、いつなんどき起こっても仕方がないと確信してよい。



それは、イスラエルが、アメリカ人民に恐怖を売りつけ、いま進行中のパレスチナ人ジェノサイドと、隠しもせぬ、ガザの土地強奪を、支持するようにするためである。

SOTN 編集者ノート：もし一つの、将来やってくる確実なことが起こるとしたら、それは、この**ハザール・マフィア**、ドン・ベニヤミン・ネタニヤフが最近行った、この不気味なスピーチである。

誰もこの首相シオニスト、ドラマ・クイーン、ビビ・サタニヤフほどの暗黒のドラマを演ずることはできない——誰も決して。もし「サタンのシナゴーク」を警備して回る鬼軍曹がいるとしたら、ネタニヤフがその人である。これこそ**ハザール陰謀団**が、この重要な時期に、彼を首相として慎重に指名した理由である——彼の頭上には、ダモクレスの剣のように、無数の起訴事実がぶら下がっているにも関わらず——いやその理由で。

このイスラエルというシオニスト国家がしがみつき、彼らの完全にフェイクの預言によって決定されている、非常に厳密なスケジュールがある。忘れてはならない——まず、これらの永久的なニセ預言者たちは、世界の未来を予言し、そのあとで意図的にそれを起こすのである。我々は、とてつもない規模で行われる、ハリウッドの映画製作の話をしている——おわかりか？ それは次のようなものだ。

なぜネタニヤフは、モサドの取り仕切る、ハマスによるニセ旗侵略を、きちんと時間通りにやってみせたのか？

<https://stateofthenation.co/?p=192097>

実を言えば、アメリカの映画産業のすべては、ハザールの創り出した、映画の事業主、監督、プロデューサー、スクリーンライター等に、そのルーツを遡ることができる。その先祖は Khazar Khaganate に遡る。したがって、こうしたハザールの詐欺は、数十年という年月をかけて、その欺瞞の技術を完成させたのである。結局のところ、ポスト・モダンの TV プログラミングや映画製作は、究極の大量欺瞞兵器のようなものである。今日アメリカ人を自称している、マインドコントロールされたゾンビや、社会的に操作されたフェイクたちを、よく見ればわかることだ。

この同じハザール族が、馬鹿々々しく、明らかに欺瞞的な、(ジョン)スコフィールド・バイブルの書き物やその影響物の、背後に存在している。そこで我々には、その洗脳の道具がこれほど多くのキリスト教シオニストを、どこで虜にしたかがわかる。実際、戦争商売

をするアメリカ議会のシオニスト・ゾンビの多くは、このようにコントロールされているのである。

「選民」 Chosen People という馬鹿げた考えは、どこから来たか？

キーポイント：歴史的事実として、銀行屋たちがこの収容所惑星を、何千年も昔から全面的に支配してきた。その厳しい、否定できない事実が、財政的監獄に我々すべてを閉じ込める、残酷な獄吏を要求した。これこそ、ハザール人たちが、(地球という) 刑務所の囚人と刑務所の警護の両方をやるように選ばれた理由である。他にどんな人が、これほどの容赦ない効率と計画された残忍さによって、この惑星の刑罰システムを管理するだろうか？ 間違っただけではない——ハザールの血統は、本来のヘブライ (ユダヤ) の血筋とは繋がってさえいないにもかかわらず、完全に計画的に、この領域を、現在まで…支配するように選ばれた者たちなのである。その理由はここにある：——ユダヤ人は本当のところ、いかにして「選ばれた人々」になったのか？

<https://stateofthenation.co/?p=195672>

いかにしてハザール人陰謀団 (Khazarian Cabal) が、アシュケナージ・ユダヤ人を効果的にコントロールし、この地球惑星をヴェールに隠れて支配することができるようになったのか？

<https://stateofthenation.co/?p=156511>

この問題は要するに、世界全体が、“End Times” (王手のかかった終末) の、ハザール人のヴァージョンを、いま目撃しつつあるということである。彼らの、人類に対して仕掛けられた地殻変動的な、Covid バイオ戦争から考えると、彼らは今、やれるところまでやって碎けるより方法がない。彼らは骨の中では、これは、彼らか我々か、どちらか一方の問題であることを知っている。これが今、インターネット全体に、こんな警告が発せられている理由である：——難破信号!!! 「新しいパール・ハーバー」か、近未来の「9・11」

かだ、皆さん <https://stateofthenation.co/?p=194423>

このようなテロ攻撃か一連のテロ作戦が、どれくらい緊急なのかといえば、それはイスラエルが、アメリカを中東戦争劇に急速にエスカレートさせる、自暴自棄の関数である。我々情報分析者はこのような予言をしている：「すべてが、9・11 レベルのニセ旗テロ攻撃とグローバル心理作戦として、この11月を指し示している」

<https://stateofthenation.co/?p=194731>

——後半省略

[訳者 Greatchain 注]

これまでになかった SOTN による、緊急報告である。SOTN は、犯罪世界の核心を暴く分析とともに、いよいよ我々自身に対し、腹を括る警告をしている。秘密結社とか暗黒集団と言われてきたものが、完全にヴェールをかなぐり捨て、狂暴な素顔を見せるようになった。これは地球規模あるいは宇宙規模の、一時代を画する出来事だということであろう。これは象徴的に、9・11 テロの「第7ビル」の解体業者による解体が、これからは白昼堂々に行われ、批判する者は誰であれ、厳しく処罰されるということであろう。

またこの記事によって、「共産党宣言」(1848) 以来の、キリスト教敵視の意味もわかり、ロシアの立場とともに、グローバリストがロシアを敵視する歴史的理由も、ゼレンスキーのウクライナの何が問題かもわかり、大規模テロを企む者たちによって、実は、アメリカ自体が狙われていることもわかってくる。

そして「西側諸国」の一員を自称し、「グローバリスト」でもあるわが国でも、同じことが起こると予想される。我々や我々の国家は、現在の状態のままで、道が開けてくる考える人はいないだろう。何らかの覚醒あるいは脱皮がなければならない。しかし我々は何度もそれを体験しなければならないだろう。決して、一度皮がむけ、一度目覚めればよいというようなものではない。それくらい我々は、徹底的に騙され、徹底的に現実を見誤っていたということである。